

令和6年度 今泉小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

- ◇基本目標 豊かな人間性をもち、主体的に判断・行動し、自らの向上と社会の発展を目指してたくましく生きる児童を育成する。
- ◇具体目標 1 明るく思いやりのある子（思いやり）
2 自ら考え進んで学ぶ子（創造力）
3 元気で、やりぬく子（体力・気力）
- 合言葉「今泉の子 やさしく かしこく たくましく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小」（キャッチフレーズ）の創造
—家庭、地域の信頼と協力の基、誰もが夢や希望を抱き、喜びややりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸長できる、児童、家庭、地域とともに歩む学校—

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 自ら進んで考え、楽しく学び合う人づくり
・学習のねらいをより具体化・明確化する工夫と、地域教育力の積極的な活用
- (2) 当たり前のことが自然にできる人づくり
・縦割り班活動（にこにこ活動）の充実と、地域ぐるみのあいさつ運動
- (3) 自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり
・体育授業や体育的行事等の充実と、家庭との連携を図った食育の推進
- (4) 愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくり
・児童が今泉小のよさを実感し、愛情や誇りのもてる学校経営
- (5) 9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくり
・地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業などとの連携・協力体制の構築
- (6) 教職員がやりがいを持ち、生き生きと勤務できる学校づくり

[泉が丘地域学校園教育ビジョン]

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成
～学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉～

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係諸法令や学習指導要領、とちぎ教育ビジョン2025、第2次宇都宮市学校教育推進計画、学校教育スタンダード、令和6年度指導の重点、泉が丘地域学校園教育ビジョンを踏まえ、教科横断的な視点を意識しながら編成する。
- (2) 児童がもつ個々の力を伸ばすことを目指し、教育目標、本年度の学校経営方針、重点目標の具現化を図ることができるよう編成する。
- (3) 本校の歴史と伝統を大切に、児童の実態や本校の特色、地域の教育力を生かした特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
○「地域はみんなの学校」を目指し、地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業などとの連携・協力体制を構築し、地域の教育力を生かした教育活動による人づくりに努める。
・様々な「ふれあい」と「学び合い」により、たくさんの「よろこび」を味わうことで自信を深め、個々の力を伸長できる学校づくりに努める。
・児童と向き合う時間と質の高い教育を確保するため、校務の適正化と効率化を推進する。

(2) 学習指導

○「自ら考え進んで学び合う児童の育成を目指して」

～子ども一人一人が「学ぶ」喜びを味わうことができる支援の工夫～

- ・児童一人一人が学びを実感し、主体的に学びに向かう授業実践
- ・特別支援教育の視点を踏まえた支援の充実

(3) 児童指導

○家庭・地域・学校園と連携して取り組む安全・安心の学校づくり

～人とのつながりを大切にし、自分の成長を意識できる児童をめざして～

- ・基本的生活習慣の育成と規範意識の醸成
- ・望ましい人間関係づくりと個に応じた問題行動対策
- ・安全指導の強化
- ・家庭、地域、関係機関等との連携

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

○児童一人一人が主体的に健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり

- ・望ましい食習慣の育成
- ・基本的な健康習慣の定着と体力向上
- ・安全に関する意識の向上
- ・家庭、地域との連携協力

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、粘り強く学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上	① 学習の問題をつくり、調べ、考え、話し合う、という問題解決的な学習を積極的に取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。 ② 自分の考えを発表できるような場を設けるとともに、自己表現とコミュニケーション能力の向上を目指した授業の工夫をする。 ③ <u>地域学校園で作成した「家庭学習の手引き」を活用して、児童・保護者に家庭学習について啓発を図り学習意欲の向上を図る。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 朝の会や帰りの会で、児童の善い行いを互いに認め、称賛し合う場を設定する。 ② 道徳科において、物語の内容から自分自身を見つめ、登場人物に共感して自分のこととして考えることができるような授業を行う。 ③ 児童会活動や縦割り班活動などの異学年活動を通して、互いを思いやる心を育む。 ④ 明確なねらいをもち、幼・保・中・高・地域の人との交流活動に進んで取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 根気強く取り組むことの大切さを学んだり、思いや願いを生かした課題を実践したりして、振り返り時に達成感を味わうことができるようにするとともに、児童の取組の様子を各種たよりや学校ホームページによって家庭・地域に発信する。 ② 児童の自己肯定感を高められるように、児童相互に認め合う場を設け、教職員も認め励ます指導に努める。 ③ めあてカード、学習カード、ワークシート等の活用により達成感や充実感を味わえるようにする。また、活動の始めと終わりを比べて「できる」ようになったことを明確にして、更に意欲を高めるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 85%以上	① 体力テストや各種検定の結果から児童の体力の実態を把握し、体育の授業の充実にも努める。 ② ほけんだよりや掲示物を通じ、健康に関する情報を発信し、児童の健康への関心を高める。 ③ 日常の給食指導や家庭で「食」について考える機会として「お弁当の日」や年2回の「食育チャレンジシート」を実施し関心を高める。 ④ 避難訓練・交通安全教室等、安全教育を通して、自分の命を守るための行動力を身に付けられるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、自分のよさや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 学級経営を核に「宮キャリア教育」や、地域・企業の協力を得た社会体験活動を通し、児童が自らの良さや成長に気づき、周りの人や社会とのつながりを意識できるようにする。 ② 学級活動・児童会活動の充実を図り、児童の考えを取り上げる場を設定し、自己有用感を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 児童は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、外 国語活動（英語）の授業やA L Tとの交流の際に、英語を 使ってコミュニケーションし ている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 8 0 %以上	① 研修の充実により、教員の授業力 の向上を図るとともに、A L Tを 効果的に活用した授業を工夫す る。 ② 生きた英語に触れる機会の充実 を図り、言語や文化について体験 的に理解を深め、積極的にコミュ ニケーションを図ろうとする態 度を育成する。 ・ A L Tとの交流の場の工夫 ・ 学校行事等へのA L Tの参加 ③ 外国語活動に向けた環境整備の 推進に努める。 ・ 教材等、備品の管理の工夫 ・ 校内掲示の工夫	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮の良さ を知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都 宮の良さを知っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 8 0 %以上	① 生活科や社会科、総合的な学習の 時間における「宇都宮学」を通し て郷土への愛情と誇りをもてる ようにする。 ② 特別活動（学校行事等）における 体験的な学習の場を設定し、興味 関心を高める。 ③ 宇都宮の伝統文化、行事や催しを 知る機会を設け啓発を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、デ ジタル機器や図書等を学習に 活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 8 5 %以上	① 各教科等の学習において、個人用 P C等のI C T機器や図書等を 効果的に活用しながら、児童の主 体的な学習を推進する。 ② 情報教育主任によるI C T機器 の活用法等の情報発信を適切に 行い、児童の発達段階に応じた指 導を継続的に行う。 ③ 情報教育主任やI C T支援員、学 校図書館司書と連携し、学習に必 要な教材・教具、図書の充実を図 る。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、『持 続可能な社会』について、関 心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 8 0 %以上	① 読書活動において、環境やエネル ギー、防災などの書籍を紹介し、 日常生活と地球の課題の関連に 気付く機会をもち、継続して指導 する。 ② 委員会活動や各教科において省 エネ運動、リサイクル活動に取り 組み、環境問題についての関心を 高めるとともに実践力を高めて いく。	【達成状況】 【次年度の方針】

3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童の実態を把握するとともに保護者と情報交換しながら適切な支援を行い、互いに個性を認め合い、居がいのある温かな学級づくりに努める。 ② 情報交換会を定期的に行うとともにケース会議を活用し、情報共有と支援方針の共通理解を図る。 ③ 特別支援教育コーディネーターを中心に研修を行うとともに個別支援計画に基づいた支援機能の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① ①「今泉小学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめの早期発見・早期対応や全校体制での支援に努める。 ② 学年だよりやさくら連絡網等を通じて、実際に行っているいじめ対策をより積極的に家庭に発信し、啓発に努める。 ③ 「友達アンケート」や教育相談週間を充実させることで、実態把握に努める。 各教科・道徳・学級活動・日常生活の指導を通して、いじめを許さない児童の育成に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 一人一人のよさを認め、励ますような温かい雰囲気学級の学級づくりに努める。 ② 児童同士がとにかかわり合い、望ましい人間関係を醸成することが出来る活動を取り入れる。 ③ 児童が主体的に活動する場面や、一人一人がよさを発揮して活躍できる場面を設定し、活動後の振り返りや、教員の称賛や励ましの声掛けにより、自己肯定感を高められるようにする。 欠席状況共有シートや日々の様子の記録等を活用した情報共有を推進し、共通理解に基づいた組織的計画的な支援を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰	① 休み時間における「共遊」等、児童と向き合う時間を確保し、実態の把握に努め、意図的な声掛けや	【達成状況】 【次年度の方針】

3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	困気である。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 90%以上	面談を行うようにする。 ② 特別支援教育コーディネーターを中心に、情報の共有と支援方針の共通理解を図りながら、保護者や関係機関と連携・協力し、個々の状況に応じた支援を行う。 ③ 教育活動全体を通して、児童の主體的な活動の場を設定し、児童の思いを生かした活気ある明るい学校づくりを推進する。	
4-(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① <u>校内研修等で、授業を互いに公開し、互いに高め合いながら授業力の向上に努める。</u> ② <u>ねらいを明確にした分かりやすいきめ細かな授業を工夫し、基礎・基本の定着を図る。</u> ③ 授業の展開や学習形態を工夫しながら、自分の思いや考えを表現し合い、互いに学び合う学習を推進する。 ④ 学年の実態に応じて、教科担任制や少人数による習熟度別学習を実施し、児童一人一人が分かる授業の展開に努める。 ⑤ <u>今泉人材バンクや地域の施設を活用した体験的な学習を推進する。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
4-(2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 学年主任や各教科・領域等主任の組織的な連携を図るために、学校内の情報共有と活用に努める。 ・管理職による総合的な連絡調整の実施 ・共通理解を図るために学年主任会の実施 ・校務分掌、授業研究における学年の枠を超えた編成 ② 専門スタッフとの打合せの機会を持ち、情報共有を行うことで、専門性を生かした連携体制を強化する。	【達成状況】 【次年度の方針】

4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、教職員の勤務時間を意識して業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 教職員一人一人が、勤務時間の自己管理を通して、勤務時間を意識した働き方に努める。 ② 学年や校務分掌のチームで業務の精選を行うとともに、学習情報システムやＩＣＴ機器を有効に活用し、業務の軽減や効率化を図る。 ③ 「リフレッシュウィーク」を設定し、教職員の意識付けを図るとともに、互いに声を掛け合う望ましい雰囲気づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、地域学校園の小学生や中学生、先生と、授業や行事、掲示物などで交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 地域学校園共同開催行事を計画的・継続的に実施し、中学生との交流を深める。 ② 小中合同のあいさつ運動や中学校訪問、乗り入れ授業の機会を通して、児童生徒の交流と相互理解を推進する。 ③ 「地域学校園・小中一貫教育」の取組を各種たより等で、家庭・地域に発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	① 今泉小地域協議会、今泉地区コミュニティセンターと連携し、地域の学校づくりを積極的に推進するとともに、学校運営の充実を図る。 ② 地域協議会・地域学校協働活動推進員等と連携し、<u>地域人材や地域資料を有効活用した教育活動を推進する。また、保護者にも更にボランティア等の協力を仰ぎ、学校と家庭との連携も強めていく。</u> ③ <u>泉が丘地域学校園との連携・協力をより一層推進し、望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童の育成に取り組む。</u> ④ 学校公開や各種通知、学校ホームページ等を活用し、情報の積極的な発信を行い、家庭・地域・企業等との連携・協力を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上	① 教職員の危機管理意識を高め、施設・設備、器具・用具等の定期的な安全点検の実施に取り組む。 (定期点検 臨時点検 日常点検) ② 行政担当課や機動班等と迅速に情報を共有し、施設等の維持管理や改善に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

6- (2) 学校のデ ジタル推 進	A20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、授業 （授業準備を含む）や業務に、 デジタルを積極的に活用して いる。」 ※デジタル・・・一人一台端 末、ミライム、スズキ校務、 さくら連絡網など ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 教職員が授業で効果的にICT 機器を活用できるよう、ICT支 援員や情報教育主任と連携した 研修を通して、教職員の技能向上 を図る。 ② ICT機器、各種システムを積極 的に活用し、教職員同士及び保護 者等との情報の共有化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学 校、地域 学校共 通、本校 の特色・ 課題等	B1 児童は、時と場に応じ たあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時 と場に応じたあいさつをして いる。」 ⇒児童・保護者・教職員・地 域住民の肯定的回答 80%以上	① 教職員が率先垂範に努めるとと もに、校内掲示や各種たより、学 校ホームページ等により児童・保 護者への啓発に努める。 ② 児童会主体で、あいさつ運動を計 画的・継続的に推進する。 ③ <u>小中一貫学校園と連携したあい さつ運動の推進を図る。特に、登 下校時の挨拶の徹底を図るよう にする。</u> ④ 「友達アンケート」にチェック項 目を入れ、振り返りを行い、児童 の自発的な挨拶を促す。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 児童は、きまりやマ ナーを守って、生活 をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、き まりやマナーを守って生活を している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 家庭や地域社会との連携を充実 させ、「今泉小のあたりまえ」（挨 拶・廊下の歩行・次の準備・身だ しなみ・言葉遣い）を指針に更な る学級指導や全体への児童指導 を通して規範意識を高める。特に 「あいさつ」を重点目標とする。 ② 「友達アンケート」に「今泉小あ たりまえ五か条」のチェック項目 を入れ、振り返りをさせること で、児童の主体性を高めながら習 慣化を図る。 ③ 生活当番による校内の巡視を通 して、児童の生活の様子を把握 し、全校体制で指導に当たるよう にする。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B3 児童は、学校のよさを 実感し、自校への愛情や 誇りをもっている。 【数値目標】 全体アンケート「私は、学校 のよいところや自慢できるこ とを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 共に生きる力を育てる活動の充 実を図る。 ・縦割り班活動 (なかよし班活動 縦割り清掃) ・特別支援学級と通常の学級と の交流 ・体験活動の充実 ② 自他の違いを理解し、尊重し合い 支え合う望ましい学級集団づく りを目指す活動の充実を図る。 ③ 望ましい食習慣の定着を図る。 ・栄養士による授業 ・各たより発行による啓発と家 庭との連携 ・お弁当の日の活用 ④ 地域の教育力を積極的に活用し 連携を図る。 ・地域の団体・施設と連携した教 育活動 ・防災訓練や下校時の見守り	【達成状況】 【次年度の方針】
--	--	---	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。